

若手・リーダー社員をターゲットとし、  
TPS/IE手法を学ぶことで**改善力を高め**、各工程の  
『あるべき姿』を目指す！

- ・1回/年の受講
- ・各部門から10人選抜
- ・2チームに編成
- ・1日の講習

品質第一の合理化手法

TPS手法稽古



生産の仕組み改善

IE手法稽古



作業の動作改善

+

各部門へ展開



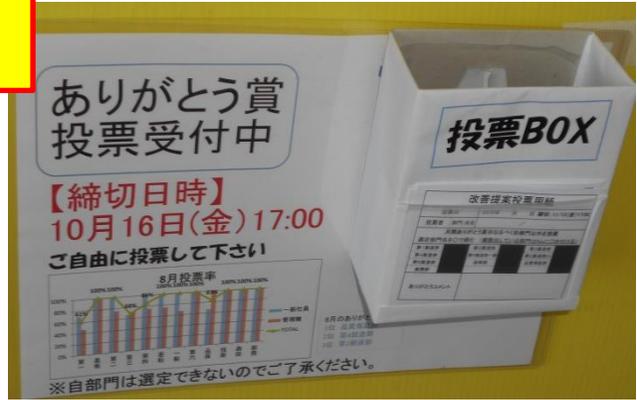
<b>予防・改善用紙</b>	作成日	2017年3月16日	区分	負傷リスク	優先度	テーマ名	A: 特級	審査結果			
		改善 合理				FE-SEM観察前サンプル置き場の変更による歩行ムダ削減	B: 1級 C: 2級	B			
・予防: 放置すれば不具合、欠陥などの問題を引き起こす状況(潜在的なもの)の原因を取り除くこと ・改善: 既に引き起こってしまった問題(顕在的なもの)の原因を取り除くこと											
区分	①品質 ②合理化 ③納期 ④5S・3T ⑤安全衛生 ⑥環境			負傷リスク、優先度	区分で安全を選択した場合のみ入力してください						
改善前				改善後							
<<点線>> ①CP研磨終了後→②顕微鏡(研磨仕上がり確認)→③研磨後サンプル置き場(CP横)→④次の作業確認(PC) <<実線>> ①次の作業確認(PC)→②サンプル取りに行く→③FE-SEM観察				<<点線>> ①CP研磨終了後→②顕微鏡(研磨仕上がり確認)→③研磨後サンプル置き場(FE-SEM)→④次の作業確認(PC) <<実線>> ①次の作業確認(PC)→②FE-SEM観察							
合理化 CO2算出	4100	秒/月	CO2換算早見表参照	6.56	kg/月	合理化 CO2算出	1558	秒/月	CO2換算早見表参照	2.4928	kg/月
◆問題点・課題 CP備品置き場の引き出しに、測定前後でのサンプル置き場があるため、何回も歩かなければいけない。 また、CPサンプルは、とても小さいサンプルになっているため、接触や水滴等に弱いため、蓋つきで保管が望ましい				◆対策の特徴 歩行のムダ削減 2542秒(約40分)の作業時間確保			◆実施日 2017年3月16日		◆合理化効果(時間) 2,542 秒/月 ◆CO2削減効果(kg) 4 kg/月		
◆活動部門 品質保証部				◆波及効果 ◆結果(必ず2項目以上は記入してください) 社会のよこび 時間短縮によりCO2削減に貢献 お客様のよこび 社員のよこび 測定しなければいけないサンプルが一目でわかり、置き場が近くて楽!							
◆サークル名・プロジェクト名				◆投資 材料: 上記の計算入力 金額: 円							

## <改善提案ありがとう投票>

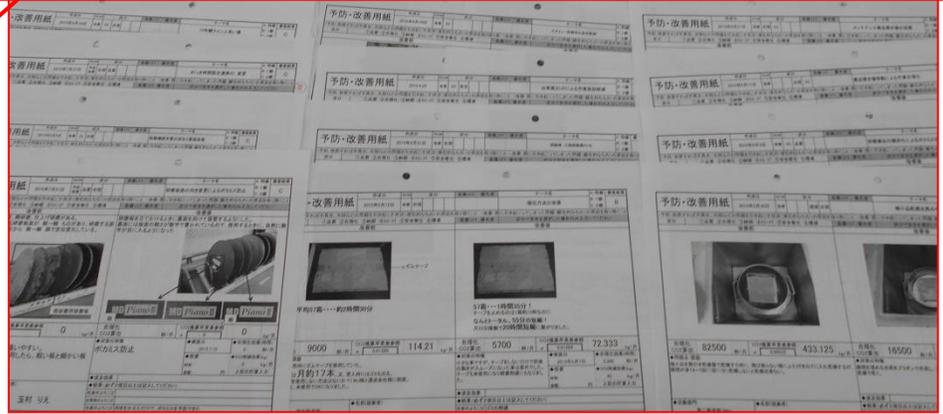
部門推薦



全従業員  
4回/年投票



月間ありがとう賞の中から  
経営層がありがとう賞をひとつ選定表彰

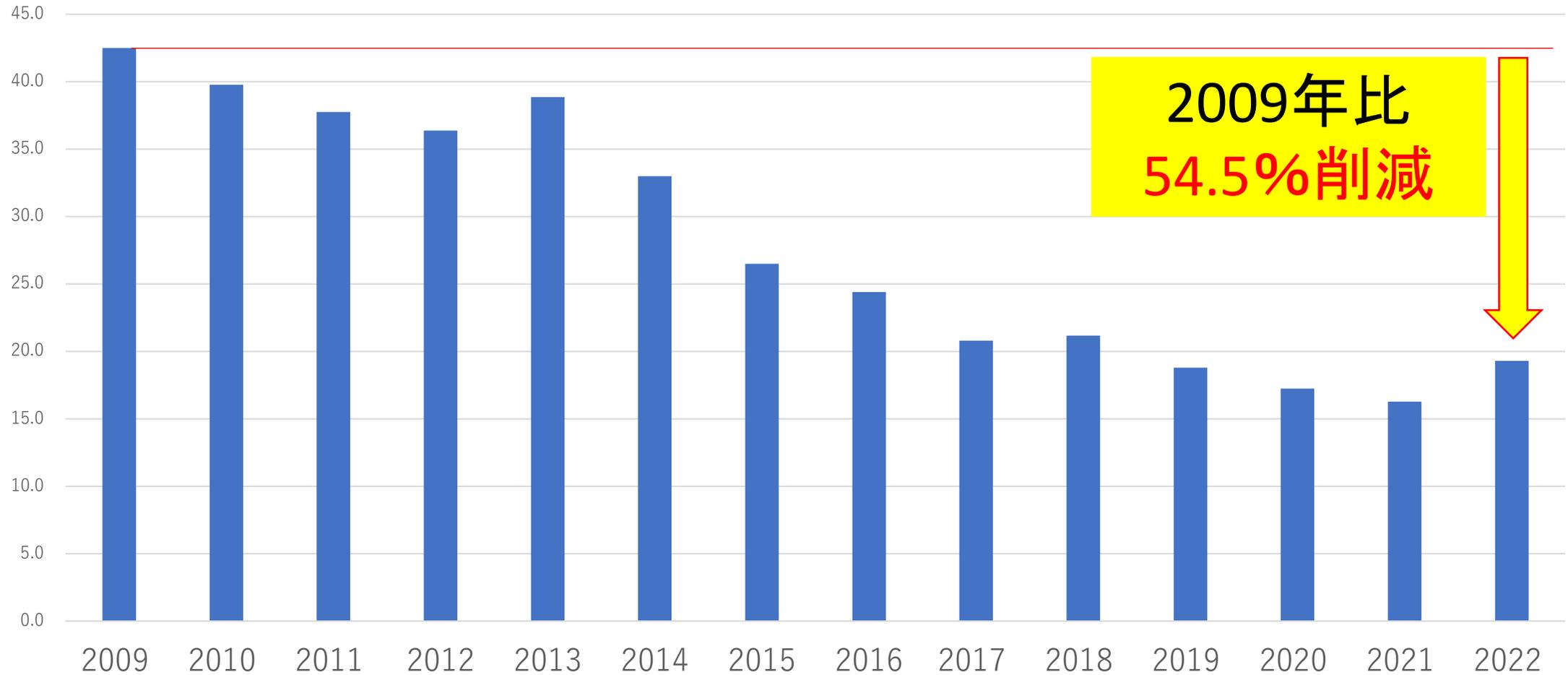


改善提案件数  
約3,000件/年

# CO2原単位推移

※原単位＝CO2排出量/生産量

CO2原単位



2009年比  
54.5%削減